

涼 風(すずかぜ)

登録番号：第7570号

登録年月日：平成11年11月30日

登録者：長崎県（長崎県長崎市江戸町2-13）

育成者：一瀬 至 寺井理治 浅田 謙介 橋本基之 森田 昭

中尾 敬 富永由紀子

吉田俊雄 長門 潤

稗圃直史 佐藤義彦

来 歴：「楠」と「茂木」の交雑実生

育 成 地：長崎県大村市（長崎県果樹試験場）

特 性

■栽培特性

樹勢は中程度で、樹姿はやや開張性である。枝の発生量が多い。葉の形状および色は「茂木」と似ているが、「茂木」より鋸歯の密度が高く、角度が鋭く、成葉裏面の毛じょうが多い。

花穂の大きさは中程度で小花こうはやや下向きに着生する。花は大きく、花弁は黄白色を呈し、1花穂当たりの花数が多い。育成地における開花期は11月下旬から12月上旬で、「茂木」とほぼ同時期である。新梢の発生時期は「茂木」よりもやや遅い。

育成地で5月下旬から6月上旬に成熟し、同じ中生種の「茂木」よりもやや早く収穫できる。耐寒性は「茂木」と同程度で、「長崎早生」より強い。

■果実特性

果実の大きさは55g程度で「茂木」よりも大きい。果実横断面の形は短卵形～短楕円形、横断面はやや角張った円形を呈する。果頂部は開孔している。果皮色は橙黄色で着色の揃いおよび剥皮性は良好である。裂果や紫斑症などの果皮障害は少ない方で、外観は良好である。

果肉は橙黄色で、硬度は中程度、果汁の量はやや多い。糖度は「茂木」よりも高いが、酸含量も「茂木」よりもやや高めである。食味は「茂木」と同等以上である。種子は長楕円形で、褐色を呈し、種皮の小斑点が多い。また、種子の大きさはピワの中では小さい部類に属するが、1果当たりに含まれる種子数が多い。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

主要病害のがんしゅ病の発病程度は「茂木」や「長崎早生」に比べて小さいが両品種と同様に病性であるため慣行の防除が必要である。

着花性が優れ量産性ではあるが、着果過多に注意する必要がある。樹勢が中位で「茂木」よりもやや劣るため、適正な肥培管理を行い樹勢の維持に心がける。また、枝の発生数が多く、枝の節間が比較的小さいので適宜芽かきを行い、枝の充実をはかる。

■地域適応性

千葉県から鹿児島県までのピワの栽培地域で露地栽培が可能である。樹勢が中立、樹姿が中間～やや開張性で樹冠をコンパクトに維持することが容易であり、生産性に優れ、「茂木」と同等の品種を有する大果の中生品種として普及することが期待される。

(福田伸二)